

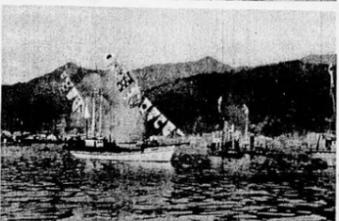
本資料のpdfへのQRcode

左低解像度 2.7 MB

右高解像度 14 MB

OM 055 FOR PUBLIKUM FOR FYLKE

大正時代の釜石で捕鯨技術など指導



ノルウェー人の孫が来訪
祖父の足跡をたどる 変わらぬ山容に感激

大正時代の釜石で、捕鯨技術などを指導したノルウェー人の孫が来訪した。祖父の足跡をたどる。変わらぬ山容に感激。

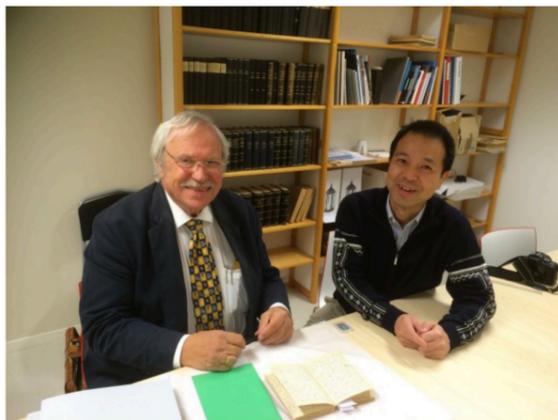
来訪したのは、ノルウェー人の孫、トールシュタイン・ショーボルト。祖父の足跡をたどる。変わらぬ山容に感激。

祖父の足跡をたどる。変わらぬ山容に感激。ノルウェー人の孫が来訪した。祖父の足跡をたどる。変わらぬ山容に感激。

祖父の足跡をたどる。変わらぬ山容に感激。ノルウェー人の孫が来訪した。祖父の足跡をたどる。変わらぬ山容に感激。

PÅ LESESALEN – BESØK FRA JAPAN

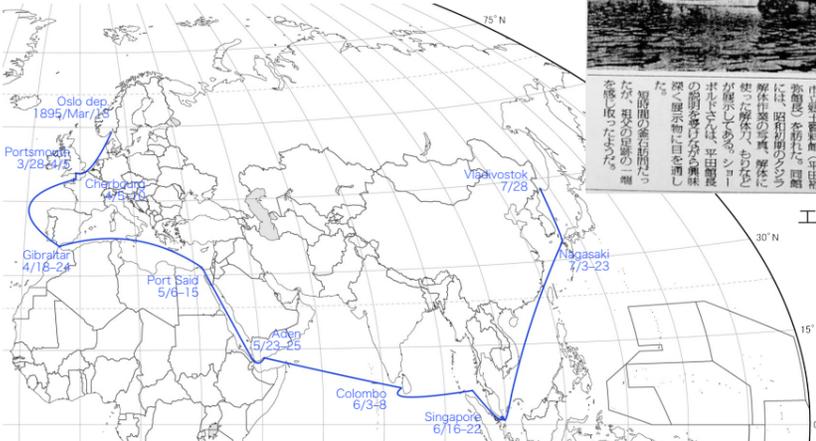
I forrige uke fikk Vestfoldarkivet og Hvalfangstmuseet besøk langveisfra – faktisk helt Tokyo.



Her ser vi Torstein Sjøvold fra Sverige og Yoshikazu Uti med dagboken til Walby.

日本企業で働いた砲手の孫 トルシュタイン・ショーボルト Torstein Sjøvold 元ストックホルム大学教授。祖父は東洋捕鯨の千鳥丸に乗船、記録ではスヨーボルトとして現れる。開いた小冊子がワルビーの日記

右：祖父の足跡を探して岩手釜石を訪ねた時の記事



・ヘンリック・メルソム Henrik Govenius Melsom 1870-1944

ノルウェー人砲手。1894年から捕鯨砲を発明したスベン・フォインの捕鯨事業に参加。1890年代後半にロシア極東の捕鯨事業に従事し、日露戦争後は日本の長崎捕鯨や東洋捕鯨で活躍した。1912年にノルウェーへの帰国後は南極海捕鯨に乗り出し、従兄弟と捕鯨船舶関係の会社を経営し捕鯨母船のスリップウェイを実用化し母船式捕鯨の道を開いた。

・ロイ・チャップマン・アンドリュース Roy Chapman Andrews 1884-1960

アメリカ自然史博物館の学芸員のち館長。1920年代に中央アジア探検隊を率いてゴビ砂漠（モンゴル）で恐竜の卵を発見したことで知られる。研究者としてのキャリアは鯨類から出発し、1910（明治43）年に鮎川と紀伊大島を拠点に調査、1912年には蔚山 [うるさん] でコクジラ調査の後に北朝鮮探検を行なった。本州と四国、沖縄、台湾、朝鮮半島の写真を残す。

【関連読み物ほか】

日新丸進水 神戸<時の話題> | 時代 | NHK アーカイブス https://www2.nhk.or.jp/archives/movies/?id=D0009183355_00000

もうひとつの近代鯨類学「第一鯨学」の形成と展開 <https://nodaiweb.university.jp/muse/unisan/geigaku/geigaku.html>

太地町立くじらの博物館編 (2010) 最後の刃刺：古式捕鯨の終焉とアメリカ式捕鯨そしてノルウェー式捕鯨船の導入

R. C. Andrews (1916) Whale Hunting with Gun and Camera [砲とカメラで鯨を追う] (訳本なし)

(うに・よしかず unisan@m5.dion.ne.jp)

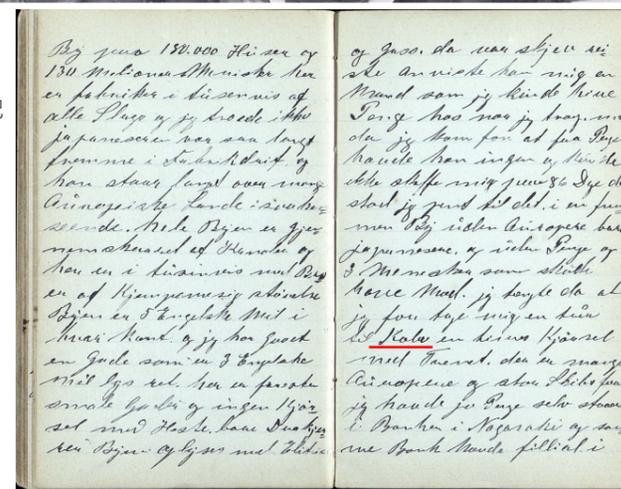
配付資料や投影スライド、個別の写真や図表を SNS やネットに上げることはご遠慮ください

神戸外国人墓地レクチャー

2025.10.18. Sat.14:00-15:30

ノルウェー人砲手と神戸～捕鯨がつないだ世界

宇仁義和（東京農業大学生物産業学部@北海道網走市）



○本日の内容

日本企業最初の砲手 A.A.ワルビーの日記

1. 神戸と捕鯨
捕鯨母船は神戸で建造、南極海からは神戸港へ帰還
2. 外国人墓地に眠るノルウェー人砲手
日本の近代捕鯨はノルウェーとその砲手に学んだ
3. 近代捕鯨はノルウェー栄光の歴史
捕鯨砲を発明して沿岸捕鯨を南極含めて世界に展開
4. 神戸を頼ったノルウェー人砲手たち
A. A. ワルビーの日記に現れる神戸の様子
ホテルで撮影された砲手と家族
5. R. C. アンドリュースが撮った神戸
世界的探検家は駆け出し時代に神戸に滞在
瀬戸内海や台湾と沖縄、紀伊大島や鮎川の写真も

上左：神戸のホテルにて。左がショーボルト（スヨーボルト）砲手
上右：ノルウェー人砲手と祝宴。写真はカナダで保管されていた
下左：くつろぐノルウェー人砲手たち。宮城県鮎川 AMNH#27370
下右：神戸のホテルにて。右がホテル所有者 Obbata 氏
上左と下右の写真は T. Sjøvold 氏提供

ノルウェー人砲手とアンドリュースが撮した神戸と極東の風景

数字はアメリカ自然史博物館 AMNH のネガ番号でアンドリュース撮影、
Vestfoldmuseene はノルウェーの博物館機構でメルソム撮影

<https://pastvu.com/p/503361>
ロシア極東ガイダマーク捕鯨基地 Library of Congress



場所被写体ともに不明、情報求む。左は宗教施設か、右は旅館か料亭だろう #14688



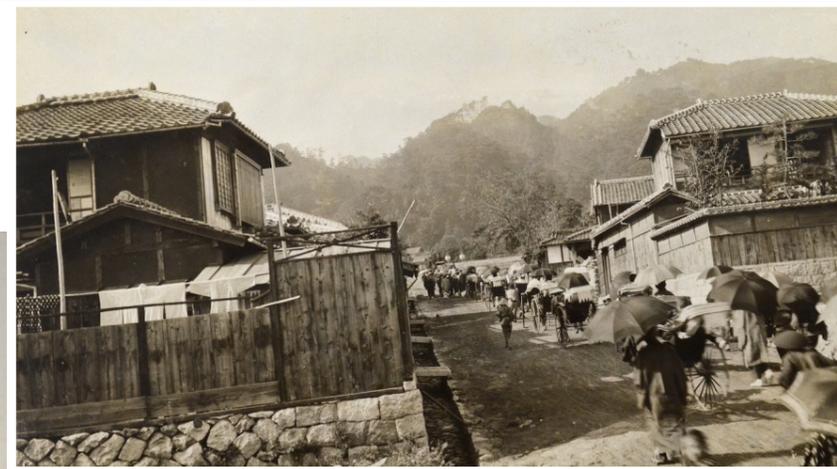
捕鯨船ギョルギー号と乗組員。中央の人物が手に持つのはキリンビール Vestfoldmuseene



朝鮮半島東部の金剛山 Vestfoldmuseene



布引の滝 #14685、摩耶山天上寺の多宝塔 #14704、能福寺「兵庫大仏」 #14690



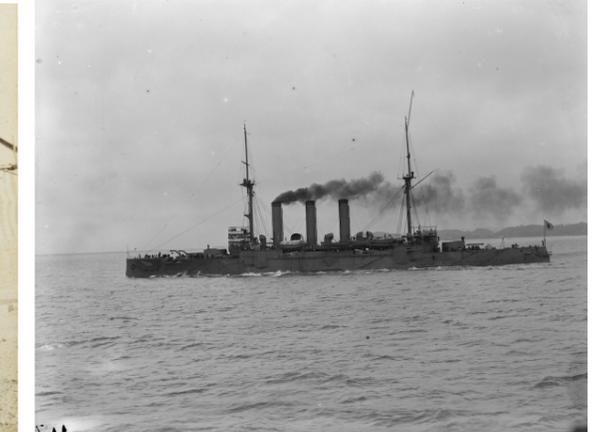
神戸の葬列 #14687



来島海峡の中渡島潮流信号所 #26802



欧米式技術大会新開地 #26802



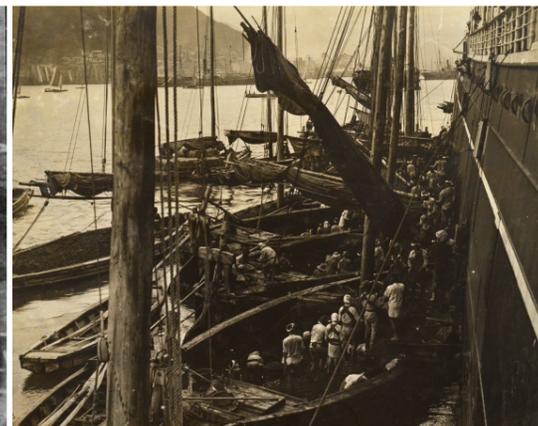
瀬戸内海を航行する巡洋艦 #26572



那覇の少女とマコーミック船長 #26676



三菱造船所小菅修船場 Vestfoldmuseene



門司港での石炭の積み込み #26575



鹿苑寺金閣 #229481



串本に陸揚げされたメスのシャチ #27043